

《担当者名》○福間 麻紀 m-fukuma@hoku-iryo-u.ac.jp 篠原 辰二(非)

**【概要】**

本科目は、ソーシャルワークにおける相談援助の理論と方法(多様な実践モデルと実践アプローチ、コミュニティワーク)を学び、その知識を具体的な支援事例の理解に応用できることを目指す。

**【学修目標】**

- 1 相談援助の実践モデル・実践アプローチを理解し、支援事例に応用できる。
- 2 コミュニティワークについて説明できる。

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ソーシャルワーク実践モデルの系譜 実践モデルとアプローチ1	実践モデル・アプローチの発展過程を理解する。 治療モデル、生活モデル、ストレングスマデルについての基本事項を説明できる。	福間
2	実践モデルとアプローチ2	心理社会的アプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
3	実践モデルとアプローチ3	機能的アプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
4	実践モデルとアプローチ4	問題解決アプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる	福間
5	実践モデルとアプローチ5	課題中心アプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
6	実践モデルとアプローチ6	危機介入アプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
7	実践モデルとアプローチ7	解決志向アプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
8	実践モデルとアプローチ8	行動変容アプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
9	実践モデルとアプローチ9	エンパワメントアプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
10	実践モデルとアプローチ10	ナラティブアプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
11	実践モデルとアプローチ11	認知アプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
12	実践モデルとアプローチ12	さまざまなアプローチの基本事項(基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード)を説明できる。	福間
13	コミュニティワーク1	コミュニティワークの意義と目的	篠原
14	コミュニティワーク2	コミュニティワークの展開	篠原
15	コミュニティワーク3	コミュニティワークの展開	篠原

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

定期試験100%

**【教科書】**

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『12 ソーシャルワークの理論と方法』中央法規 2021

**【参考書】**

久保紘章・副田あけみ編著『ソーシャルワークの実践モデル』（2005）川島書店  
他、講義内で紹介

**【備考】**

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）」に該当する。教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉援助技術」に該当する。

**【学修の準備】**

- ・予習として、シラバスに準じて事前に教科書を読んでおくこと。分からない語句については用語辞典等を用いて事前に調べること。（80分）
- ・復習として、授業後は毎回要点整理を行い、分からない点については自分で調べるとともに、次回の授業までに担当教員に確認すること。（80分）

**【実務経験】**

福間麻紀（社会福祉士）、篠原辰二（社会福祉士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

社会福祉士の経験を活かし、ソーシャルワークに求められる実践モデル・アプローチ、コミュニティワークに関する基本的知識を講義する。